令和5年度　学校関係者評価結果報告書

学校名	成田市立吾妻小学校

学校関係者 評価委員	
学校運営協議会委員	
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	

1　学校教育目標

みんな仲良く　たくましく
＜めざす子ども像＞
（1）思いやりがあり，ともに働く子（徳育）（2）自ら考え，学ぶ子（知育）（3）進んで運動する子（体育）

2　本年度の重点化された具体的な目標

（1）徳育　①元気な挨拶と思いやり　②勤労・生産活動
（2）知育　①基礎学力の向上　②思考・表現力の向上
（3）体育　①運動の楽しさを味わえる体育授業　②健康で安全な生活習慣の獲得

3　自己評価結果に対する学校関係者の評価・意見等

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策	学校関係者による意見等
基本的な生活習慣	家庭や地域で挨拶ができる。	保護者からの肯定的意見を90％以上得て	A	○道徳の授業等を活用し，勤労・奉仕に取り組む心や充実感について理解を深めていく。 ○係活動等を活性化し、責任をもって役割に取り組むことやや遂げた後の達成感、充実感を味わえる活動を意図的に設ける。	・最近は子ども達に挨拶をしても返事が返ってこない。危機管理指導が徹底されすぎているのでは。 ・地域でのあいさつをもう少し活性化したい。 ・良い習慣をこれからも継続を。 ・改善策についてはぜひPTAの会合などでも話してほしい。
	家での生活習慣が身についている。	保護者からの肯定的意見を91％以上得て	A		
	家でお手伝いをしている。	保護者からの肯定的意見が73％を下回ってい	C		
	社会のルールやマナーを身につけている。	保護者からの肯定的意見を91％以上得ている。	A		
	学校は，「みんななかよくたくましく」の育成に努めている。	保護者からの肯定的意見を93％以上得ている。	A		
	学校環境が整備され，安全で清潔な学習環境が整っている。	保護者からの肯定的意見を92％以上得ている。	A		

学校運営協議会委員	評価者①	評価者②	評価者③	評価者④	評価者⑤	評価者⑥	評価者⑦	評価者⑧	評価者⑨
自己評価の適切さ	A	A	A	A	A	A	A	A	C
改善に向けた取り組みの適切さ	A	A	A	A	B	A	A	A	B

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策	学校関係者による意見等
学習習慣	基礎・基本となる学習が身についている。	保護者からの肯定的意見を86％以上得ている。	A	○学校における自主学習の系統化を図る。 ○対話的な授業の充実を図る。特にタブレット端末を効果的に活用することで他者との意見交換を効率的に行えるようにする。 ○各学級に読書の時間を割り当てるとともに、図書委員会との連携を重視し、意欲的に読書に取り組む環境づくりを行う。 ○欠席児及び保護者との連絡を密にとるとともに、タブレット端末を活用したオンライン授業の一層の充実を図る。	・学校での学習習慣は身についている。家庭学習は自分で考える力をつけたい。 ・読書を強制するのではなく楽しいと思わせたい。 ・現代社会でも活字，本離れが進んでいく。伝記や実体験に基づいた話は今後も大切になると思う。
	家庭学習をする習慣が身についている。	保護者からの肯定的意見を75％以上得ている。	B		
	自主学習をする習慣が身についている。	保護者からの肯定的意見が52％を下回ってい	D		
	思いや考えをはっきりと話すことができる。	保護者からの肯定的意見が70％を下回ってい	C		
	進んで本を読んでいる。	保護者からの肯定的意見が48％を下回ってい	D		
	学校は子供1人1人を大切にしたわかりやすい授業を学校は行っている。	保護者からの肯定的意見を87％以上得ている。	A		
	学校は欠席時の学習保障を行っている。	保護者からの肯定的意見が73％を下回ってい	C		
	学校は工夫した行事を行っている。	保護者からの肯定的意見を95％以上得ている。	A		
	iPadを効果的に活用した授業に取り組んでいる。	保護者からの肯定的意見を91％以上得ている。	A		

学校運営協議会委員	評価者①	評価者②	評価者③	評価者④	評価者⑤	評価者⑥	評価者⑦	評価者⑧	評価者⑨
自己評価の適切さ	B	A	A	A	B	A	A	A	A
改善に向けた取り組みの適切さ	A	A	A	A	A	A	A	A	A

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策	学校関係者による意見等
望ましい人間関係	毎日楽しく学校に通っている。	保護者からの肯定的意見を93%以上得ている。	A	〇保護者の意見では肯定的なものが多い。 〇日々実施している学校生活アンケートを今後も継続し、友達間のトラブル等に対し、早期発見，早期解決に努めると共に，ケースによっては組織的な対応を今後も続けていく。 〇管理職直通相談フォームを今後も活用していく。	・学校が楽しい児童が多いことは大変良いこと。 ・数%の肯定的でない意見が気になる。丁寧な対応をお願いしたい。 ・今後も改善策を続けてほしい。
	友達と仲良くできている。	保護者からの肯定的意見を95%以上得ている。	A		
	思いやりのある優しい子どもに育っている。	保護者からの肯定的意見を95%以上得ている。	A		
	子どもや保護者からの相談に対して適切に対応している。	保護者からの肯定的意見を94%以上得ている。	A		
	間違った行動を指導し，いじめない学級づくりに努めている。	保護者からの肯定的意見を92%以上得ている。	A		

学校運営協議会委員	評価者①	評価者②	評価者③	評価者④	評価者⑤	評価者⑥	評価者⑦	評価者⑧	評価者⑨
自己評価の適切さ	A	A	A	A	A	A	A	A	A
改善に向けた取り組みの適切さ	A	A	A	A	A	A	A	A	A

分野・領域	評価項目	評価の指標	取組状況	改善の方策	学校関係者による意見等
保護者・地域との連携	学校だよりやホームページ，メール配信等で情報を伝えている。	保護者からの肯定的意見を95%以上得ている。	A	〇昨年度に引き続き，ICTを活用した情報発信に力を入れていき、今後も，時代に即した令和の「開かれた学校」を目指す。	・これからも連携を継続してほしい。 ・スクリレアプリは大変有効である。 ・今後も改善策を続けてほしい。
	学校は子どものことを電話や連絡帳等で適切に伝えている。	保護者からの肯定的意見を93%以上得ている。	A		
	PTAや地域と連携した教育活動が進められている。	保護者からの肯定的意見を94%以上得ている。	A		
	ICTを活用し，情報発信や情報収集を工夫して行っている。	保護者からの肯定的意見を94%以上得ている。	A		

学校運営協議会委員	評価者①	評価者②	評価者③	評価者④	評価者⑤	評価者⑥	評価者⑦	評価者⑧	評価者⑨
自己評価の適切さ	A	A	A	A	A	A	A	A	A
改善に向けた取り組みの適切さ	A	A	A	A	A	A	A	A	A

4 次期の重点目標

〇学校図書館司書との連携を強め，読書活動への啓発活動に取り組む。
〇学校だよりや配信メールを活用することで，保護者への啓活を行い，自他のために働くことの意義や，家族への感謝の気持ちを育てる。
〇家庭学習のガイドラインを充実させるとともに，振り返りを確実に行い，児童・家庭への意識化を高め取り組みの日常化を図る。
〇職員間の風通しを良くするとともに，働き方改革を進めることで教師が児童と向き合う時間を確保し，生徒指導的な問題の早期発見・早期解決に努める。